

## 令和3年6月の労働市場の動き

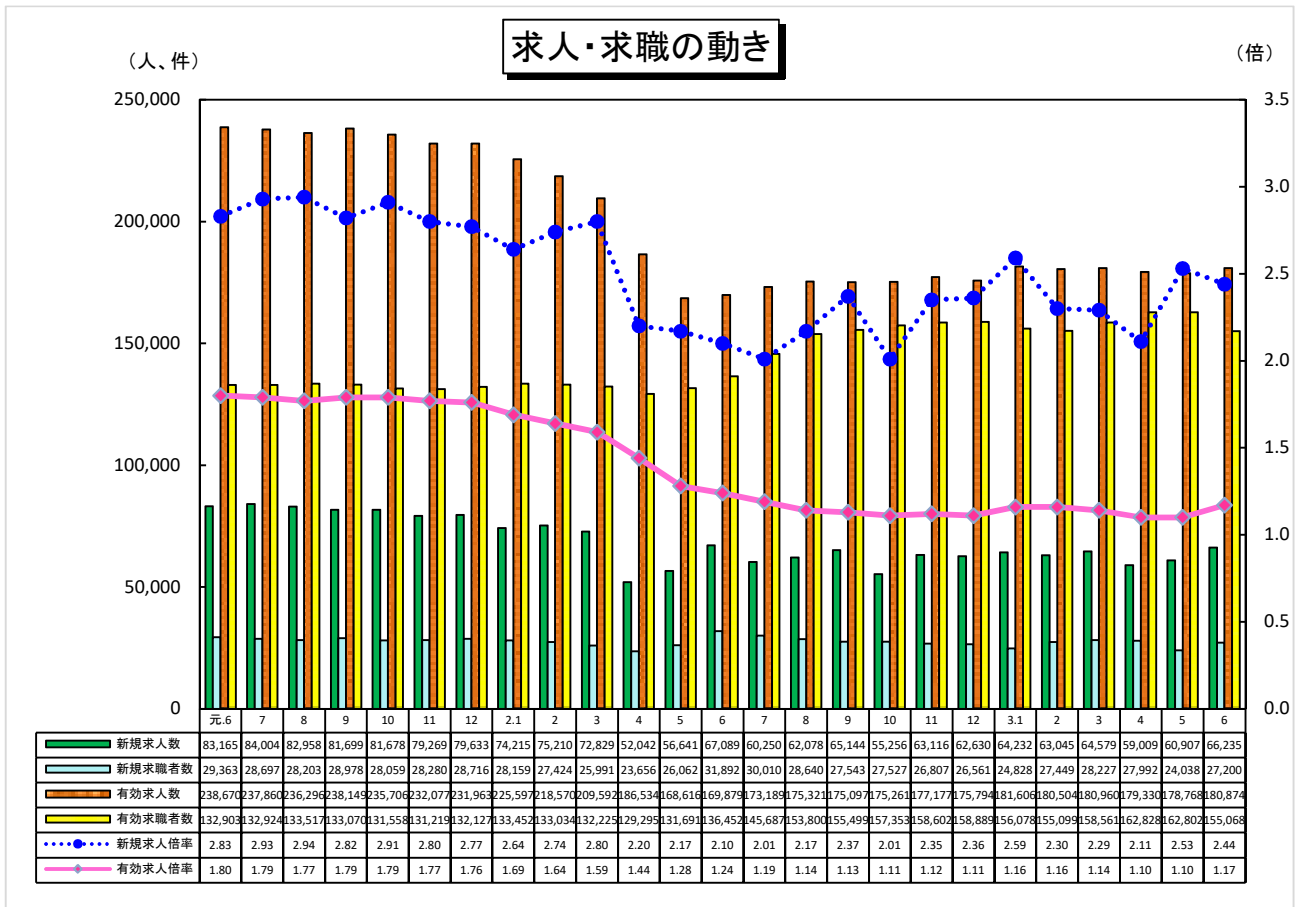
### (求人倍率)

- 大阪府の令和3年6月の有効求人倍率(季節調整値)は1.17倍と、前月より0.07ポイント上昇し、5か月ぶりの上昇となった。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.44倍となり、前月より0.09ポイント低下した。

【参考】 就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は0.96倍と、前月より0.06ポイント上昇したものの、11か月連続で1倍を下回っている。

### (求人・求職の動き)

- 6月の新規求人数(季節調整値)は前月比8.7%増となり、有効求人数(同)は前月比1.2%増となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比13.2%増となり、有効求職者数(同)は前月比4.8%減少となった。
- 6月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると2.5%減となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比1.8%減)、製造業(同17.1%増)、情報通信業(同9.5%増)、運輸業、郵便業(同3.0%増)、卸売業、小売業(同8.0%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同24.8%増)、宿泊業、飲食サービス業(同24.7%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同15.8%増)、教育、学習支援業(同32.0%増)、医療、福祉(同5.8%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同1.9%減)と産業により増減がまちまちである。



(注) 各月の数値は季節調整値。R3.2季節調整替。